

年間授業計画【新様式】

高等学校令和8年度（3・4学年用）教科

保健体育 科目 スポーツⅡ

教科：保健体育

科目：スポーツⅡ

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 4 学年

教科担当者：小林 陽介, 中山 万葉

使用教科書：（「現代高等保健体育」（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

体育やの見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活カある生活を営む態度を養う。

科目 スポーツⅡ の目標：

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
球技（ネット型：バドミントン） 【知識及び技能】 状況に応じたシャトル操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己やペアの課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫し、それらを他者と共有することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、健康・安全を確保した上で、互いに助け合い高め合うことができる。	・正確なショットのためのストロークの練習（オーバーヘッドストローク、アンダーハンドストローク、フォアハンド、バックハンド） ・サーブの練習 ・戦術学習 （シングルス、ダブルス） ・スマートスクール端末を活用し、フォームを動画で記録し、課題を見出し、改善に向けた手立てを考える。 ・専門用語やルールに関する授業内テストの実施	【知識及び技能】 ・技術の名称や行い方を理解している。 ・状況に応じたシャトル操作で空間を作り出すなどの攻防を展開することができる。 ・正確なサーブを行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 （シングルス、ダブルスにおいて自己やペアの課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫し、それらを他者と共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動に主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保し、フェアプレイを遵守する上で、一人一人の違いに応じたプレイを大切にし、互いに助け合い高め合おうとしている。	○	○	○	10
球技（ゴール型：フットサル） 【知識及び技能】 ポジションの役割を理解し、状況に応じたボール操作や動きによって空間や味方と相手の動きを見ながら、防御をかわして相手陣地に侵入し、ゴールを決めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じて運動への取り組み方を工夫し、それらを他者と共有することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、健康や安全を確保した上で、一人一人の違いを理解し、互いに助け合い高め合うことができる。	・状況に応じたボールコントロール練習 ・守備練習 （マンツーマンDF、ゾーンDF） ・シュート練習 ・ルール理解 ・スマートスクール端末を活用し、自身や他者のキックのフォームやゲームの様子を動画で記録し、課題を見出し改善に向けた手立てを考える。 ・専門用語やルールに関する授業内テストの実施	【知識及び技能】 ・攻撃については、防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぼうとしている。又、シュートに積極的にトライし、パスを受けるために味方が作り出した空間に移動している。 ・守備については、チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをしている。 【思考力、判断力、表現力等】 練習や試合の場面において、自己やチームの課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて取り組み方を工夫している。又、それらを他者と共有している。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動に主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保し、フェアプレイを遵守する上で、一人一人の違いに応じたプレイを大切にし、互いに助け合い高め合おうとしている。	○	○	○	10

1
学
期

2 学 期	<p>球技（ゴール型：アルティメット）</p> <p>【知識及び技能】 状況に応じたディスク操作や動きによって空間や味方と相手の動きを見ながら、防御をかかわして相手陣地に侵入し、ゴールを決めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じて運動への取り組み方を工夫し、それらを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切に、健康や安全を確保した上で、一人一人の違いを理解し、互いに助け合い高め合うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スロー練習（バックハンドスロー、フォアハンドスロー、アップサイドダウンスロー） ・キャッチ練習 ・シュート練習 ・ルール理解 ・試合形式 ・スマートスクール端末を活用し、自身や他者のフォームを動画で記録し、課題を見い出して改善に向けた手立てを考える。 ・専門用語やルールに関する授業内テストの実施 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称について理解している。 ・攻撃については、防御をかかわして相手陣地やゴールにディスクを運ぼうとしている。又、シュートに積極的にトライし、パスを受けるために味方が作り出した空間に移動している。 ・守備については、チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のディスクを奪うための動きをしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 練習や試合の場面において、自己やチームの課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて取り組み方を工夫している。又、それらを他者と共有している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 運動に主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保し、フェアプレーを遵守する上で、一人一人の違いに応じたプレイを大切に、互いに助け合い高め合おうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>球技（ネット型：卓球）</p> <p>【知識及び技能】 様々な打法を身に付け、正確にコントロールし、味方と連携しながら、攻防を展開することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じて運動への取り組み方を工夫し、それらを他者と共有することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保した上で、互いに助け合い高め合うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・打法練習 ・サービス練習 ・試合形式 ・ルール理解 ・スマートスクール端末を活用し、自身や他者のフォームを動画で記録し、課題を見い出して改善に向けた手立てを考える。 ・専門用語やルールに関する授業内テストの実施 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方等を理解している。 ・状況に応じたボール操作をすることができる。 ・正確なサービスを行うことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己やペアの課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫している。又、それらを他者と共有している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 運動に主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保し、一人一人の違いに応じたプレイを大切に、互いに助け合い高め合おうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>球技（ネット型：バレーボール）</p> <p>【知識及び技能】 ポジションの役割に応じたボールや用具の操作で、仲間と連携し、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己やチームの課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫し、それらを他者と共有することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切に、健康や安全を確保した上で、一人一人の違いを理解し、互いに助け合い高め合うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なボール操作の練習（アンダーハンドパス、オーバーハンドパス、サービスなど） ・セット攻撃の練習 ・スマートスクール端末を活用し、自身や他者のフォームを動画で記録し、課題を見い出し改善に向けた手立てを考える。 ・専門用語やルールに関する授業内テストの実施 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称やコントロールの仕方を理解している。 ・状況に応じたボール操作で空間を作り出し、得点を取ることができる。 ・チームの作戦に応じた守備位置に移動し、仲間と連携してボールの侵入を防いだり、打ち返したりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 練習や試合の場面において、自己やチームの課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫している。又、それらを他者と共有している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 運動に主体的に取り組むとともに、健康や安全を確保し、フェアプレーを遵守する上で、一人一人の違いに応じたプレイを大切に、互いに助け合い高め合おうとしている。</p>	○	○	○	8

